

平成31年度 朝霞市立朝霞第十小学校学力向上プラン

教育に関する3つの達成目標効果の検証結果

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校全体
読む・書く	30 (実績)	97	91	93	96	93	96	94
	29 (実績)	97	96	93	91	92	96	94
	28 (実績)	97	97	87	97	93	97	95
	27 (実績)	98	93	92	94	91	96	94
計算	30 (実績)	95	92	96	96	93	97	95
	29 (実績)	95	93	97	94	95	97	95
	28 (実績)	94	95	92	98	92	97	95
	27 (実績)	96	91	94	96	93	98	95

学校教育目標

- 【い】意欲ある子
- 【か】考える子
- 【す】健やかな子

学校研究課題

多様な感じ方や考え方を伝え合い、自分の考えを深めようとする児童の育成
～児童の主体的な考えを促す指導法の工夫～

平成30年度全国学力・学習状況調査結果（6年）

【成果】

- 「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」など、基本的な生活習慣は確立されている。
- (国語) A問題「話すこと・聞くこと」の正答率が、全国や県と比較して大幅に上回った。
- (算数) A・B問題共に、平均正答率が全国・県を上回った。

【課題】

- 家で学校の授業の予習・復習をしている人の割合が低い。
- (国語) A問題「読むこと」に関する問題の正答率が低い。
- (算数) 全国・県と同じ傾向であるが、B問題の正答率が低い。特に「数量関係」や「記述式」の問題の正答率が低い。
- (理科)「知識」を問う問題の正答率が低い。

平成30年度教育に関する3つの達成目標検証結果【本校独自実施、正答率が90%以下の項目】

(読む・書く)

- 2年～文章に合う言葉を探す・文章を書く・漢字
- 3年～文章に合う言葉を探す・文章の内容に合うものを選ぶ・国語辞典の使い方
- 4年～文章の内容に合うものを選ぶ・句点や読点に気を付けて文章を書く
- 5年～漢字
- 6年～文章の内容に合うものを選ぶ

(計算)

- 1年～時刻の読み方
- 2年～数の仕組み・単位
- 5年～異分母分数の引き算



本校の課題

- 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・文章の内容を的確に読み取ること
 - ・文章の構成に関する理解
 - ・伝えたいことが分かる文章を書くこと
- 学習したことを活用する力
 - ・量を表す単位の読みや換算
 - ・小数のかけ算やわり算
 - ・異分母分数のたし算やひき算

本校の児童に身につけさせたい学力

- 基本的な知識・技能
- 知識・技能を活用するための思考力・判断力・表現力
- 聴き合い、伝え合うコミュニケーション能力
- 主体的に学習に取り組む態度・意欲

学力向上のために

各教科等の授業における取組

- (全教科) 聴き合い、伝え合う活動を充実させる。(ペア対話・グループ対話)
- (全教科) 自分の思いや考えを整理するために書く活動を取り入れる。
- (全教科) 体験的・問題解決的な活動を通して言語活動を充実させる。
- (国語) 文章をすらすら読める。文章の組み立てを理解する。主語・述語の関係を明らかにして文章を書く。
- (算数) 数学的活動を取り入れた授業を展開する。ワークシートを活用する。繰り返しにより基礎基本の定着を図る。

授業以外の取組

- 学習環境の整備
 - ・教材・教具の工夫
 - ・教材研究の充実
- 朝読書の充実
 - ・ボランティアによる読み聞かせの充実
- ステップアップ教室の充実(3・4学年)

家庭・地域との連携

- 家庭学習の工夫
 - ・家庭学習の手引きの活用
 - ・10分×学年+10分の習慣
- 家庭の理解と協力
 - ・基本的な生活習慣の確立
- 学校応援団の活用
 - ・学習ボランティアの活用